

品 種 名	〈草種〉 早晩性	用 途			播種量 (10a当たり) kg	特性と栽培法
		サイレージ	乾草	青刈		
ハヤテ	〈エンバク〉 極早生	◎	○		6~8	短秆で耐倒伏性に優れる。 子実多収。 刈取りは乳熟期でサイレージ調製。梱包のヘイレージ、乾草利用では、出穂期で刈取る。
ワセドリ	〈オオムギ〉 極早生	◎	○		6~8	生育早く、短期収穫に適する。 乾燥早く、イタリアンライグラスとの混播で、水分調整に有効。 刈取りは乳熟期でサイレージ調製。残根少なく、後作への移行が楽。
ハイオーツ	〈エンバク〉 早 生		◎		4	細茎・細葉で乾草調製に最適。 冬枯れ防止のため、10月下旬の播種を厳守。 刈取りは出穂期で、モーアコンディショナを使用するとよい。
初 春	〈ライムギ〉 極早生	○	◎	○	10~12	早春の生育量が極めて多い。嗜好性が良いのは出穂前。刈取りは止葉期~穂ばらみ期。 ヘアリーベッチ3kgを混播すると、マメ科率が向上できる。
春 一 番	〈ライムギ〉 極早生	○	◎	○	10~12	積雪地帯での越冬栽培に最適。 刈取りは止葉期~穂ばらみ期。 イタリアンライグラスの冬枯防止では3kgを混播。 乾燥時間の短縮にも効果ある。
オールマイティ	〈エンバク〉 中 生	○		◎	8~12	太茎・直立型で耐倒伏性に優れる。播種量を4~6kgに減じればサイレージ利用でもよい。 「前進」よりも耐倒伏性強く、刈取り効率が高い。
太 豊	〈エンバク〉 晩 生			◎	6~8	広葉・太茎・多葉な草姿。 多回刈りでは、地際より10~15cmで刈取り、再生を促す。 刈取りは草丈1~1.5mがベスト。

注) 用途…◎最適、○適